

昭和52年度 第1回シグマ研究委員会幹事会議事録

日 時 昭和52年4月15日(金) 11:00~16:00
場 所 日本原子力研究所東海研 研2棟227号室
出席者 塚田(主査・原研), 飯島(NAIG), 中嶋(法政大),
松延(住友原工), 更田, 五十嵐(原研),
オブザーバ 浅見哲(原研)
欠席者 百田, 久武, 大竹, 桂木, 田中

配布資料

1. 前回議事録
2. CSEW Normalization and Standards Subcommittee
Specialists Meeting on \bar{U}
3. Dr. K. H. Bockhoff への手紙
4. Dr. S. Pearlstein からの手紙
5. Status Report of Japanese Study Group
6. ワーキング・グループ責任者への連絡事項

議 事

1. 前回議事録確認
2. シグマ研究委員会規定の改訂
当委員会の規定を原研内の委員会規定と合わせるため「幹事」, 「幹事会」の名称を変えざるをえないことが報告され, それぞれ「運営委員」, 「運営委員会」と改めることにした。また, 運営委員, 監査委員等については, 主査名で依頼書を出すことにした。
3. 52年度活動方針
52年度の委員会旅費の配分および委託調査の割当てについて審議を行い, その結果を整理して本委員会に提案することにした。

4. 1977 Tokyo Conf. の Pre-symposium

当委員会より申込んだ1件を含め9件すべてがOKになったことが紹介された。これに伴い、pre-symposiumを9月3日(土)に原研東京本部で行うことを再確認し、標題はさしあたり Topical Discussion on Low-Energy Nuclear Fission とすることにした。また、当日の日本側 speaker の候補者について議論を行った。

5. 研究会

52年度に研究会が行える可能性のあることが紹介され、討議の結果、non-neutron nuclear data を中心とした研究会と云うことで予算申請をすることにした。

6. 委員会業務

資料(6)により事務局よりWG責任者への要望事項の説明があり、大筋は了承されたが、会合開催の申し込み期限についてはきびし過ぎるとの意見が多く、できるだけ主旨に沿うと云うことになった。

7. シグマ委組織の検討

前日に討議したものにとくに加えるものがなかったので前回の結果を整理して本委員会に提案することにした。

8. シグマ委人事

前回の審議結果を一部修正して本委員会に提案することにした。

9. JENDL-1 検討会, 総合報告, Informal Meeting

先般行われた標記の研究会の反省として、informal meeting は学会発表のプログラムと並列でなく別に行うべきだったとの意見があった。

10. 第9回 INDC 会合

更田委員より会合のための準備の状況の説明があった。

11. 国際会合

a) CPND meeting : 資料(5)の説明とともに、田中(一)、池上両氏が出席されることが紹介された。

b) FPND meeting : 飯島委員が出席予定である。

c) Geel meeting : 資料(3)をもとに大竹委員、浅見哲氏の出席予定が紹

介された。

d) CCDN committee : 6月の会合に更田委員が出席することになった。

12. 学会部門委員

シグマ委員会の部門委員に更田委員が加わることになった。

13. JENDLの公開に伴う問題

JENDLの公開に当り、ENDF/B-Nのデータを用いた部分を除いて公開したい旨の報告がありました承された。

14. 1978 Harwell Conf.

主査より、標記会合の米国の advisory committee メンバーが会議のテーマとして提案したものに“高出力陽子加速器による fissile material の breeding”, “トリウム fuel cycle に関する研究”, “decay heat calculation”, “delayed neutron emission probability and spectra”, “fusion reactor のための nuclear data”, “gas production cross section”, “核データの correlated uncertainties の sensitivity analysis”等のあることが紹介された。

15. 本委員会の議題

次の本委員会の議題について検討を行い、次のものを提議することにした。

主要項目として

52年度計画

53年度概算要求

JENDL-1 と benchmark test

mass chain evaluation

委員会組織の検討・規約の改正

委員会人事

小項目として

50・51年度2年報

Pre-symposium

研究会, 国際会合, Regional Conf. in Japan

JENDL-1 の取扱い

さらに規約改正を提議するのに伴い、運営委員、監査委員についての幹事
会案の審議を行った。

次回は6月17日（金）の予定

以 上